

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 総務課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・平和事業の実施により、平和の尊さへの理解を促進する。 ・自治基本条例の周知や市民参画を推進し、市民が主役の自治（市民自治）を確立する。 ・本庁舎の維持管理及び公用車の維持管理を行う。 			
	課長名	滝 剛		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	694,277 千円
						令和3年度当初予算額(B)	999,906 千円
						増減額(A-B)	-305,629 千円
		人件費	目安の金額	課長 6 人			
			321,500 千円	係長 11 人			
				職員 19 人			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		○	(仮称) 平和資料館建設事業 (投資)	令和4年4月下旬に開館する「北九州市平和のまちミュージアム」の円滑な施設運営と来場促進に向けた様々な取組みを行う。	—	74,100		-74,100
2	○		平和のまちミュージアム管理・運営事業	・令和4年4月下旬に開館する「平和のまちミュージアム」について、円滑な施設運営を行うとともに、幅広い世代が訪れるよう、市内のミュージアム施設等と連携した共同展示や「平和のまちミュージアム」を拠点に、近隣の歴史・文化施設等を見学する周遊コースづくり等の取組を行う。		14,400	40,000	25,600	
3	○	○	<新>平和のまちミュージアム管理・運営事業 (債務)	・令和4年4月下旬に開館する「平和のまちミュージアム」のオープニング式典をはじめ、施設及び開館を広く市民等にPRするための取組を行う。			2,000	2,000	
4	○		(仮称) 平和資料館建設事業 (債務)	—		297,846		-297,846	
5	○		非核・平和推進事業	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、事業を実施するもの。	・引き続き「嘉代子桜・親子桜」の植樹のほか、コロナ禍の中、令和2、3年度は実施できなかった「青少年ピースフォーラム」(長崎市主催)への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等を実施するなど、戦争の記憶を後世へと伝えて行く取組を進めていく。	10,000	10,000	0	
6	○		北九州市自治基本条例推進事業	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」(2010年10月1日施行)の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や市民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	・引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。 ・特に市政への関心が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演に取り組む。	1,110	1,110	0	
7			北九州市民憲章推進事業	自治会をはじめとするまちづくり団体などから構成され、市民憲章の普及啓発を行う「北九州市民憲章推進協議会」(任意団体)に対して、補助金を交付する。	・引き続き、団体に助成し、市民憲章の普及及び啓発のための企画及び実践活動を行う。	1,215	860	-355	
8			表彰関係事務	市表彰式の開催及び表彰受賞者への記念品を贈呈する。	—	2,959	2,931	-28	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9		○		<新>表彰関係事務(市制60周年)	市表彰式の開催に併せ、市制60周年記念式典を開催する。	—		6,069	6,069
10				総務一般管理費	一般管理費	—	21,822	19,116	-2,706
11				総務局交際費	総務局交際費	—	100	100	0
12				庁舎等整備事業	本庁舎の設備維持に係る工事を行う。	・前年度同様、電気・機械設備等の計画的な更新を行う。	26,100	26,100	0
13				本庁舎電気・機械等設備管理業務	本庁舎の電気・機械等設備の維持管理を行う。	・前年度同様、電気・機械設備等の効率的な運転管理を行い、省エネルギーに努める。	68,390	68,390	0
14				本庁舎管理事務(公共)	本庁舎の維持管理に必要な清掃等の業務委託経費及び光熱水費。	・前年度同様、きめ細かな空調運転を行い、省エネルギーに努める。	247,132	245,953	-1,179
15				庁舎一般管理事務	庁舎管理のための一般事務費。	—	3,445	3,218	-227
16				車両管理事務(法律・条例)	庁舎管理所管の公用車の車検に伴う法定費用及び市全体の公用車に係る任意保険料。	・前年度同様、法令に基づき、車検等の車両整備を行い、公用車の適正な管理を行う。	14,172	13,675	-497
17			車両管理事務	庁舎管理所管の公用車の車検整備等費用及び燃料費。	11,208		10,403	-805	
18				室町駐車場管理事務(公共)	室町駐車場(公用車駐車部分)の管理経費。	・前年度同様、駐車場施設の適正な管理を行う。	12,757	12,800	43
19				本庁舎警備業務	本庁舎の秩序の維持、災害及び盗難の防止等に従事する警備業者への業務委託経費。	・前年度同様、本庁舎の秩序の維持等の適正な管理を行う。	88,000	87,252	-748
20		○		本庁舎ボイラー更新事業	本庁舎のボイラーの更新を行う。	—	43,800		-43,800
21		○		本庁舎冷却水ポンプ更新事業	本庁舎の冷却水ポンプの更新を行う。	・本庁舎施設等の長寿命化事業へ統合	1,350		-1,350
22		○		公用車における環境車の導入	環境車の導入に速やかに対応するため、本庁舎地下駐車場に電気自動車用充電設備を整備する。	—	60,000		-60,000
23		○		<新>公用車における環境車の導入	本庁舎地下駐車場の電気自動車用充電設備の整備に合わせて、共用車へ電気自動車を15台リース導入する。	—		3,300	3,300

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24		○		<新>本庁舎施設等長 寿命化事業	令和3年3月に策定した「中長期修繕計画」に基づき、本庁舎等の長寿命化改修を計画的に実施し、予防保全型の維持管理に努めることで、建物を安全に管理し、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を行う。	—		91,000	91,000
25		○		新型コロナウイルス感 染症対策広報事業	感染の拡大防止に努めながら、社会経済活動との両立を目指すため、市民向け広報事業に取り組む（令和2年度2月補正予算で計上）	—	0		0
26		○		<新>新型コロナウイ ルス感染症対策推進事 業	感染の再拡大防止と、社会経済活動の両立に向けた広報活動などの取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の課題 ① 感染の再拡大への備えが必要（基本的な感染防止対策の徹底・継続） ② 市民の様々な相談窓口を案内する仕組みが必要（相談支援体制の強化） ③ ワクチン接種率を高める広報が必要（若者の接種率向上） ③ ワクチンのブースター接種を進める動きがある ④ 行動制限の緩和や緊急事態宣言等による制限措置等についての周知が必要 ・上記の課題認識から、本事業では4つの主題を設定し事業を実施 ①「基本的な感染防止対策の推進」は、本市の独自『5つの行動目標』の周知拡大 ②相談支援体制についてこれまでの取組の利便性の向上 ③若者を対象とした情報発信ツールの活用 ④ワクチンパスポートの周知及び社会経済活動の回復につながる産学官連携事業 		50,000	50,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 法制課		重点項目	・法制課の所管業務に関する適正化・効率化を図る。								
	課長名	河田 守胤		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	122,310 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
						令和3年度当初予算額(B)	67,827 千円		係長	5	人	
						増減額(A-B)	54,483 千円		職員	6	人	
				118,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文書課管理事務	一般事務費	—	4,986	4,605	-381
2				例規データベース管理業務	市の例規データベース保守、例規の制定改廃に対応するためのデータ更新及び例規集追録の発行。	—	8,404	8,404	0
3				メールセンター管理運営	本庁メールセンターでの庁内メール搬送及び郵便物の受付業務に関する民間委託。令和2年度から令和5年度まで債務負担行為を設定するが、令和2年度は契約行為のみのため予算額は0千円。	—	20,000	19,301	-699
4				自治体DX推進事業（重点）	「（仮称）自治体DX推進計画」の目標の一つとして掲げられている電子決裁の推進のために、文書管理システムの改修を行うと共に、システムの保守運用を行う。	・「（仮称）自治体DX推進計画」の目標の一つとして掲げられている電子決裁を推進する。 ・職員が文書管理システムを使って効率的に業務を行うために、機能の改善を行う。	34,437	30,700	-3,737
5		○		<新>システム基盤追加整備事業	システム基盤のOS変更に伴い、同システム基盤に搭載されている文書管理システムも新OSに対応できるように改修する。	・システム基盤の改修は、システム基盤に搭載されている全システムに影響するものであり、文書管理システムもその一つであるため、必ず改修する必要がある。	/	49,800	49,800
6		○	<新>ウェブブラウザ改修事業	職員ポータルと連携している文書管理システムのウェブ画面が適切に表示されるように改修する。	・マイクロソフトインターネットエクスプローラのサポート終了に伴い、文書管理システムが正常に稼働しない恐れがあるため、必ず改修する必要がある。	9,500		9,500	

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 文書館		重点項目	・情報公開・個人情報の開示、審査会の運営を行うとともに、情報の提供の推進に努める。 ・歴史的文化的価値を有する公文書、郷土の歴史に関する文書その他の記録を収集・保存し、市民の利用に供する。						
	課長名	花本 潤一		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	15,478 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						令和3年度当初予算額(B)	59,273 千円		係長 3 人	
						増減額(A-B)	-43,795 千円		職員 3 人	
				64,000 千円						

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文書館維持管理費(公共)	文書館の維持管理。	—	8,855	8,855	0
2				文書館運営経費	文書館の運営。 情報公開・個人情報保護・行政不服審査会の運営。	—	5,418	5,223	-195
3			○	文書館空調機改修事業	空調機(一般系チラー他)の改修工事	—	45,000		-45,000
4		○		<新>文書館水道設備改修事業	水道設備改修の実施設計	—		1,400	1,400

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 行政経営課		重点項目	・様々な行政課題に対応しうる財政基盤を築き、事業の「選択と集中」を図るため、北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。 ・外部の有識者で構成する「北九州市行財政改革推進懇話会」において、行財政改革の実施状況等を検証し、その取組を着実に推進する。				
	課長名	中原田 香織		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人
				令和4年度当初予算額(A)	24,707 千円			係長 3 人
				令和3年度当初予算額(B)	10,278 千円			職員 6 人
				増減額 (A-B)	14,429 千円	86,500 千円		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				行財政改革の推進	<p>【行財政改革の推進】</p> <p>「北九州市行財政改革大綱」及びその具体的な取組を示す「推進計画」に基づき、更なる行財政改革に取り組む。 <大綱に掲げる4つの柱> ①簡素で活力ある市役所の構築 ②外郭団体改革 ③官民の役割分担と持続的な仕事の見直し ④公共施設のマネジメント</p> <p>【外郭団体改革の推進】</p> <p>「市の政策の一翼を担い、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができ、民間委託等でできないまたは適さない」という役割に照らして、外郭団体の運営が妥当であるか、絶えず見直しを行っていく。</p> <p>【行政評価】</p> <p>「元気発進！北九州プラン」を構成する主な事業について、PDCAサイクルによる見直しを行い、行政サービスの質の向上を図る。</p> <p>【内部統制】</p> <p>地方自治法第150条に基づき、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じること、事務の適正な執行を確保する。</p>	・行政評価に係る市民アンケート調査の調査票回収及び集計をデジタル化し、業務の省力化に取り組む。	6,798	6,528	-270
2				民間活力導入の推進	北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。 ・所管局が行った指定管理者に対する評価に関して、第三者の立場から検証を行うため、指定管理者の評価に関する検討会議を開催する。 ・「民間にできることは民間に委ねる」という考え方にに基づき、これまで市が直接行ってきた業務等を、市が行う必要性やサービス水準、コスト等の視点から十分検討する。その上で、行政サービス水準の維持・向上やコスト削減等を図ることができるものは、積極的に民間委託や指定管理者制度導入などを進める。	・新たに3施設に指定管理者制度を導入する。	3,480	3,279	-201

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
3	○	○		<新>公民連携推進事業	民間事業者や広告代理店と連携した「提案型ネーミングライツ制度」を導入する。 さらに、公民連携ワンストップ窓口を設置し、民間の知見を活用した地域課題の解決や新たな事業機会の創出を図る取組を推進する。	・厳しい財政状況の中で、新たな税外収入の確保および事業の効率化を目的として、民間の知見・ニーズを汲み取るための仕組みづくりを行うもの。 ・令和4年度は、専用ホームページの開設、また、専用ホームページを活用した広報等、積極的な情報発信を実施することで、事業の周知を図る。		6,100	6,100
4		○		<新>業務量調査・分析業務	市役所におけるDX推進の前提となるBPR（業務改革）を推進するにあたり、全庁的な業務量調査の結果を基に、行財政改革の観点から、業務分析や事務事業の整理を行う。	・全庁的な業務量調査の結果を踏まえ、デジタル化以外の視点を含めた行財政改革の観点から、業務分析や事務事業の整理を行い、市全体のBPR（業務改革）を推進する。		8,000	8,000
5		○		<新>eラーニングシステムのサーバ移行	デジタル市役所推進室が令和5年度に予定しているシステム基盤更新に伴うWindowsServer2019への更新に対応するため、新システム基盤への移行作業及びOSの変更等を実施するもの。	—		800	800

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 女性活躍推進課		重点項目	・女性の活躍による経済社会の活性化や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進する。 ・子育て・介護など、多様な生活背景を持つ職員が働きやすい職場環境を整備し、性別問わず職員一人ひとりが持てる力を最大限発揮し、キャリアを形成することを支援する。								
	課長名	谷内 絵理		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	73,416 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	73,635 千円		係長	3	人	
						増減額 (A-B)	-219 千円		職員	4	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業（裁量）	令和元年5月策定の特定事業主行動計画「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム（R1年度～R5年度）」に基づき、女性職員のキャリア形成及び職員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む。	・女性職員キャリア研修やメンター研修を通して、女性職員のキャリア形成の意識付けを行う。 ・令和4年度より、女性職員の長期的・計画的な育成のため、新たに係長級及び課長級の女性職員を対象とした研修等を実施し、女性管理職等の比率向上を目指す。 ・ワーク・ライフ・バランス推進関連研修等の実施を通じて、イクボス実践によるマネジメント力強化と男性職員の育児参画をともに着実に進めていくことで、市職員の更なる女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	6,608	4,520	-2,088
2	○		○	ワーク・ライフ・バランス推進事業（重点）	「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を踏まえ、企業等の取組支援や幅広い広報啓発を行う。	—	1,500		-1,500
3	○			ワーク・ライフ・バランス推進事業（裁量）		・「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」の意見を踏まえ、企業等への取組支援を継続して実施するとともに、中小企業を中心に女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に係る助成金等の情報提供や研修講師派遣を充実させる。	6,505	7,475	970
4	○			ウーマンワークカフェ北九州運営事業（公共・その他）	女性の就職・子育てとの両立・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	・コロナ禍で厳しい雇用情勢となり、特に非正規雇用の女性の就労支援が求められるところ、ウーマンワークカフェ北九州の利用を一層促進すべく効果的な周知広報を図るとともに、引き続き女性の多様なライフキャリアに合わせたきめ細かい支援を行う。	3,864	3,966	102
5	○		ウーマンワークカフェ北九州運営事業（債務）	20,000			20,000	0	
6	○		ウーマンワークカフェ北九州運営事業（指定）	7,650			7,650	0	
7	○		○	ウーマンワークカフェ北九州開設5周年記念事業（臨時）	ウーマンワークカフェ北九州が開設5周年を迎えるため、更なる周知と利用者増に向け、集客力の高いイベントを開催する。	—	1,000		-1,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8	○	○		<新>ウーマンワーク カフェ北九州情報シ ステム運用保守事業(臨 時)	女性の就労支援のために活用している「求人求職者情報システム」の運用保守契約の更新等を行う。その際、オンライン相談可能なパソコンに置き換えることで、相談体制の充実を図る。	・コロナ禍で厳しい雇用情勢となっているところ、子育て中の女性でも相談しやすいようウーマンワークカフェ北九州に新たにオンラインなどの相談体制を充実させる。 (※機器の整備)		1,000	1,000
9	○			女性輝き!推進事業 (裁量)	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、就職、子育てとの両立支援、創業支援、キャリアアップ等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の新規利用者の獲得に向けた更なる周知広報を図る。	・コロナ禍で厳しい雇用情勢となっているところ、子育て中の女性でも相談しやすいようウーマンワークカフェ北九州に新たにオンラインなどの相談体制を充実させる。 ・各種セミナー等については、対象のニーズに合わせた効果的な方法を工夫して実施する。	10,250	11,092	842
10				女性活躍推進行政一般 管理	女性活躍推進課事務費	—	993	958	-35
11	○			次世代活躍応援事業 (裁量)	小中高生の固定的性別役割分担意識の払拭のため、市内高等教育機関と企業が連携して行う、研究・職場体験プログラムの提供など、多様な進路選択を促進する取組を支援する。	・女性の活躍が進んでいない分野への若年層の進路選択について、既存の事業を整理し、市内高等教育機関や理工系企業と連携した取組を効果的・効率的に支援する。	980	2,200	1,220
12		○		次世代活躍応援事業 (重点)		—	3,000		-3,000
13	○			北九州イクボス同盟推 進事業(重点)	イクボス推進の取組を市内全域に拡大するため、「働きやすいまち北九州」を目指して企業・団体トップにより設立した「北九州イクボス同盟」の普及・充実を図り、市内企業の働き方改革を推進する。	・北九州市内にイクボスをさらに普及させるための研修会や若年層へのPRを引き続き実施する。 ・設立5周年の記念イベントを開催し、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、本市の働き方改革のさらなる機運醸成を図る。	1,500	3,500	2,000
14	○			北九州イクボス同盟推 進事業(裁量)			4,455	5,955	1,500
15	○			テレワーク推進事業 (債務負担)	仕事と私生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、テレワークを実施する。	・仕事と生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、デジタル市役所推進室と連携して、継続してテレワークを実施する。 ・特に、育児休業中の職員を対象にモバイル端末を活用した復職サポートを実施し、スムーズな職場復帰を後押しするとともに、職員のキャリア形成を中断しない仕組みづくりを行う。	5,100	5,100	0
16	○	○		テレワーク推進事業 (通信費)			230		-230

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 男女共同参画推進課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画基本計画に基づく計画的・総合的な事業の実施 ・あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画を拡大すると共に、男女共同参画意識が浸透した社会、地域の実現を目指す。 ・女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶と、生涯を通じた女性の健康支援を推進する。 								
	課長名	川口 美紀		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	397,566 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	343,456 千円		29,000 千円	係長	1	人
						増減額(A-B)	54,110 千円		職員	1	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			男女共同参画基本計画推進事業	男女共同参画基本計画の着実な推進のため、男女共同参画審議会などを行うとともに、DVに対する広報・啓発を行う。	・「第5次北九州市男女共同参画基本計画」の策定に向け、男女共同参画社会に関する市民の意識や実態を把握するための市民意識調査を実施し、本市における課題等を明らかにして、今後の施策検討の基礎資料とする。 ・地域において、女性の視点や知恵を活かすことを地域の活性化や住みよさの向上へつなげるため、地域における女性参画を促し、リーダーとなる人材を育てていく。 ・事業者・地域等における方針決定過程への女性の参画拡大を進める。 ・女性活躍を推進するため、男女共同参画センターにおいて女性の就業に関するスキル取得等の人材育成に資する事業や、男性の家事参加などに関する事業を実施する。 ・若年層向けのデートDV予防事業の広報・啓発など、DVに対する更なる啓発に取り組む。	5,751	5,853	102
2	○			地域における男女共同参画推進啓発事業	地域における広報啓発事業を通して、男女共同参画推進社会の実現を目指していく。	・(公財)アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、行財政改革大綱を踏まえ、事業の見直し等に取り組むとともに、成果を市民に見える形で還元することとする。	3,470	3,421	-49
3	○			(公財)アジア女性交流・研究フォーラム事業	男女共同参画推進という市の政策課題に対応するため、国際的な視点等も加えながら様々な事業を推進する。	—	39,000	39,000	0
4	○			男女共同参画センター管理運営事業(指定管理)	男女共同参画センターにおいて、施設運営をはじめ、男女共同参画の推進のため、講座や相談事業など、様々な事業を行う。	—	251,653	244,088	-7,565
5				男女共同参画センター施設整備事業	男女共同参画センターの施設整備を行う。	—	2,890	2,890	0
6				男女共同参画一般管理	男女共同参画推進課事務費	—	692	614	-78
7				男女共同参画センター施設整備事業(男女共同参画センターホール舞台照明設備改修工事)	男女共同参画センター照明設備の改修工事を行う。	—	40,000	79,200	39,200
8	○			<新>SNS等を活用した若年女性対策強化事業	コミュニケーションツール「LINE」を活用した相談業務を実施し、若年女性やこれまで相談に至らなかった方へ相談を促す。	・制度の狭間にある若年女性が抱える様々な悩みが深刻となる前の受け皿となり必要な支援や施策に繋げていけるよう、「LINE」を入口とした相談を実施し、きめ細やかな対応に取り組む。	/	3,000	3,000
9	○			<新>困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業	コロナ禍で様々な課題・困難を抱える女性に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO等の知見を活用し効果的に実施するとともに、市において団体との連絡会議や研修の開催及び相談支援の一環として生理用品の提供を実施する。	・コロナ禍において生活や仕事、DV被害、子育てや介護に関する女性の困難や不安が深刻な状況であり、女性に対する支援が急務となっている。 ・NPO等の団体の知見や専門性、経験・ノウハウ等を活用し、行政では手が届きにくい支援を効果的に行う。		17,000	17,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10		○		<新>ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究事業	SDGs未来都市として、ジェンダー平等においても日本全体を牽引する存在となるために、本市におけるジェンダー平等に係る現状と課題を明らかにするとともに、市内外の先進事例等を研究し、ジェンダー平等や女性活躍推進、地方創生等の取組をさらに加速させる一助とする。	・様々な分野における女性の参画拡大において、固定的役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が大きな障壁となっている。ジェンダー平等や市内企業における女性活躍推進は重要であり、その実現に向けた調査・研究を実施する。		2,500	2,500

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 人事課		重点項目 ・簡素で活力ある市役所の構築に向け、職員の公務員精神の涵養とモチベーションの向上を図るとともに、職場の人材育成基盤の強化や客観性及び納得性のある人事評価制度の構築を進める。							
	課長名	コスト		令和4年度当初予算額(A)	41,057 千円	目安の金額	課長	1	人	
				令和3年度当初予算額(B)	33,819 千円		人件費	係長	6	人
				増減額(A-B)	7,238 千円			職員	15	人
				184,000 千円						

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				北九州市職員資格取得支援事業	日常の業務遂行(OJT)の中では得難い、高度な専門性を習得できる「資格取得」「講習会等への参加」について、希望する職員に対して必要経費の一部を助成する。	—	2,300	2,300	0
2				職員生産性向上事業	時間外削減で成果を出した部署や、積極的な時間外削減の取組を行う部署の更なる業務改善や効率的な業務遂行を支援する	—	3,000	3,000	0
3				人事評価システムリース経費	行財政改革調査会最終答申に基づき導入した人事評価システムのリース経費(R3~R7)	—	5,700	5,742	42
4				人事管理事務	人事管理に係る一般事務費	—	11,211	10,368	-843
5				職員表彰事務	永年勤続表彰者、退職者への表彰状、感謝状贈答等	—	3,066	3,066	0
6				訴訟事務	職員に対する行政処分について訴訟事件となったものの事務処理	—	797	797	0
7				人事評価制度の再構築	行財政改革調査会最終答申に基づき、人事評価制度の見直しを行うもの	—	1,950	1,950	0
8				特別転職選考による転職者向け研修	職員が職務を適切に遂行する上で必要となる知識・技能の習得を目的とした職場外研修を実施するもの	—	1,036	1,036	0
9				職員提案事業	職場改善事例又は政策に関するアイデアを広く職員から募集する	—	436	435	-1
10				人材育成管理事務	一般事務費	—	520	260	-260
11				職場育成基盤整備事業	局・課単位で行う、職員の育成指導や職員間のコミュニケーション活性化、メンタルケアの取組みなど、各職場における人材育成力を強化する	—	3,070	3,070	0
12				訴訟事務	分限処分に係る係争費用	—	733	733	0
13		○		<新>公務員定年引上げに係るシステム改修業務(人事)	地方公務員の定年引上げに対応するため、人事給与システムの任用等に係る部分の改修を行うもの。	—		8,300	8,300

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 給与課		重点項目 ・職員に対する給与の支給を適正に行うこと ・職員の健康保持、増進に向けた取り組みをすすめること									
	課長名	山下 耕太郎		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	19,013,299 千円	人件費	目安の金額	課長	3	人
					令和3年度当初予算額(B)	18,654,548 千円	係長		5	人		
					増減額(A-B)	358,751 千円	職員		18	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				給与管理事務費	給与支給にかかる経常的経費	—	5,504	5,442	-62
2				人事給与システムの改修業務	給与改正等に対応するためのシステム改修にかかる費用	—	17,277	16,568	-709
3				定期健康診断等	地方公務員法、労働基準法及び労働安全衛生法の規定に基づく職員の健康管理のための事業	—	127,098	127,483	385
4				安全衛生管理費	安全衛生事業実施に係る事務経費	—	5,767	5,964	197
5				北九州市職員文化体育協議会交付金	地方公務員法第42条に基づき、職員の元気回復のために文化体育事業を実施	—	410	410	0
6				トレーニングルーム施設維持管理	トレーニングルーム施設の維持管理費	—	2,275	2,297	22
7				総務職員費	総務局等の職員に対する人件費	—	18,495,666	18,668,184	172,518
8				特別職員報酬等審議会	条例に基づく特別職員報酬等審議会開催に伴う経費	—	551	551	0
9		○		<新>システム基盤追加整備に伴うシステム改修等業務	システム基盤追加整備に伴う人事給与システム及び庶務事務システムの改修経費	—		149,700	149,700
10		○		<新>短時間勤務職員の共済組合加入に伴うシステム改修業務	地方公務員等共済組合法の改正により、令和4年10月から短時間勤務職員が共済組合に加入することに伴うシステムの改修経費	—		29,700	29,700
11		○		<新>公務員定年引上げに係るシステム改修業務	地方公務員の定年引上げに伴う、人事給与システムの改修経費	—		7,000	7,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 福利課		重点項目	・退職者にかかる退隠料等の支払を適正に行うこと								
	課長名	谷 聡之		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	6,429 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	6,429 千円		係長	4	人	
						増減額(A-B)	0 千円		職員	16	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				退隠料等事務	昭和37年11月30日以前の退職者にかかる退隠料等の支払事務	—	6,429	6,429	0

令和4年度 課の事業一覧

組織名	総務局 職員研修所		重点項目	・人材育成基本方針を踏まえ、実効性のある研修を計画的・体系的に実施する。								
	課長名	小石 佐織		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	92,427 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	98,429 千円		係長	1	人	
						増減額(A-B)	-6,002 千円		職員	2	人	
				36,500 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				一般研修事業	職員研修実施にかかる経費。	—	3,746	4,046	300
2				派遣研修事業	高度で専門的な知識・経験の習得や多様な人的交流を目的とし、国・大学院等に職員を派遣する。	・派遣研修科目を精査したことによる派遣予定者及び経費減少	1,297	914	-383
3				省庁派遣研修事業		・令和4年度の派遣予定者減少に伴う経費減少。	36,000	30,500	-5,500
4				研修所維持管理事務 (公共)	職員研修所の維持管理にかかる経費。	—	20,220	20,220	0
5				研修所管理事務	一般事務費	—	4,766	4,654	-112
6				職員研修業務委託事業 (令和3年度～令和5年度)	人材育成方針に則り、人事評価項目等の人事制度と連動した、実効性の高い研修を計画的・体系的に実施する。	・R3～R5北九州市職員研修業務委託契約の2年目を迎え、人材育成基本方針に則り、人事評価制度と連動した実効性の高い研修を計画的・体系的に実施する。	32,400	32,093	-307